

## 平成29年度 内海中学校学校評価アンケート（保護者用）と回答

\*回答（⇒）については、2月16日付で更新しています。

### 【1-A】父親1名、母親9名、無記入5名

- ・毎年合唱コンクールの後にあった、「スライドショー」が今年はなかったのが残念だった。  
⇒ 昨年度は生徒会執行部の意向で作成しましたが、担当生徒の負担が大きいため、本年度は計画しませんでした。当日の合唱については練習風景を公開することで、生徒のがんばりをお伝えする方法に変えています。
- ・冬休みの部活が少なすぎて驚いた。もう少し増やしてほしい。  
⇒ 県全体の「部活動の見直し」流れと地域性を鑑み、生徒のニーズや保護者の皆様のご意見を踏まえながら、引き続き検討していきます。
- ・夏は、カッターシャツの下に体操服を着てズボンの下にハーフパンツをはいているが、あせもだらけになり、汗だくにもなっている。強制ではないと思うが、全員着ているといっているのだから、改善してほしい。臭うし体操服も黄ばんでくるし、なぜ着ているのか分からない。体操服もすぐ乾くドライメッシュの素材のものに変更してほしい。  
⇒ ハーフパンツの着用については、生徒自身の判断としていますが、衛生面にも配慮し声かけをしてきます。体操服の素材については、業者に相談していきます。

### 【1-B】母親9名、無記入5名

- ・毎朝、横断歩道のところで子どもたちを見守ってくださりありがとうございます。また、体育祭や文化祭での先生方と生徒の距離の近さに驚き、よい学校と思いました。一つ気になるのは部活動の少なさです。  
⇒ ご理解に感謝申し上げます。町内中学校の部活動は、みな同じ状況となっています。共通課題として取り組んでいきます。
- ・野球部の練習がダラダラと長い気がします。朝早くから始めるなら、短めに実のあるものにしてほしい。家庭優先での活動でよいということでしたが、休んだときに子どもが指導を受けたようで休みづらい。親の思いとしては、勝ち負けよりもチームの大切さや礼儀を重視している。  
⇒ 試合での勝利を最優先することはありませんが、生徒の目標を叶える集団種目としての特性を考え、理解を得ながら各部の運営にあたっていきます。生徒が主体的に取り組む中で、仲間と共に生きる力を身に付けることを主な目的としていますので、ご理解をお願いいたします。

### 【2-A】父親2名、母親18名、その他の家族1名、無記入10名（複数回答あり）

- ・最低な学校だ。  
⇒ 学校の主役である生徒は、個々に成長を遂げていますので、具体的なお指摘をいただければ幸いです。ご批判は、受け止め改善に努めて参ります。
- ・いじめや不登校に対してきちんと対応しているように思われない。少ない生徒しかいないのに、そういう生徒に手が回っていないのか。  
⇒ いじめ・不登校は、生徒本人やご家庭の意向や専門家による見立てにそって、必要に応じ、町教育委員会や関係機関にも相談する体制を本校でもとり、チームとして各ケースの支援をしています。いじめの定義が、「一定の関係にある中で、被害者が「いじめ」と感じた場合とされ、教育相談や無記名のいじめアンケートの結果、数値面ではいじめ件数が増えています、体制の充実で個々に対応していますので、ご理解・ご支援をお願いいたします。
- ・（交通安全指導について）入学時の自転車通学生徒に対しての気遣いが全くない。  
⇒ 指導の徹底が不十分で申し訳ありませんでした。生徒への指導不足の点を、次年度は改善していきます。

- ・(部活動について) 冬期の朝部活は必要でしょうか？  
⇒ 逆のご意見もありますので、今後検討していきます。
- ・行事や地域の活動も大切だとは思いますが、それで授業時間が圧迫されていないのかなと思うことがあります。ゆとりのある授業を望みます。  
⇒ 地域での生徒の活躍が人間力の育成につながり、部活動と同じように学校生活の充実度との相関関係が認められます。バランスをとりながら、継続していきたいと考えています。
- ・災害時の子どもの動きがわかりにくいように思います。台風、地震、その大小によって違うのだと思いますが、家の帰る場合、学校に残る場合(津波の危険がある場合)など、あまり把握できていません。こちらの勉強不足もあると思いますが、分かりやすく一覧にしてもらえると助かります。  
⇒ 小学校や町内学校とも検討し、改善していきます。
- ・夏休みや冬休みの部活動が少なく、上手くなるものも上手くならない。練習がたくさんできれば、試合でもよい成績が残せると思う。最近では試合でよい結果を聞かない。  
⇒ 相対的な試合結果は別にして、全国的な部活動の動向も踏まえ、生徒の期待に沿う活動を考えていきます。練習量については、多様なご意見がありますので検討していきます。
- ・毎朝、暑い日も寒い日も雨の日も横断歩道で登校する生徒を見守ってくださり、頭が下がります。あまり無理をなさらないようにと思ってしまう。  
⇒ お心遣いに感謝申し上げます。朝の登校風景で、生徒理解が進む場面もありますので、無理のない範囲で継続させていただきます。

### 【3-A】父親1名、母親名19名、未記入9名

- ・授業についていけない子を対象に普段から補習など、少しの時間(1時間程度)でも行ってもらえるとありがたい。  
⇒ 部活動や委員会活動の時間と重複する中で、時間設定が難しいのが現状です。テスト週間の延長、ノートの工夫や習熟度に応じた学習形態の工夫など、バランスをとりながらできることを検討していきます。
- ・いじめの問題はなくならないと思う。  
⇒ 生徒の主体的な活動、学校・家庭の理解と協力で、適切な対応がとれるよう努めていきます。
- ・インフルエンザ等で長期欠席をした場合、学習に対しての学校からのきめ細かいフォローをお願いしたい。  
⇒ 長期欠席者への学力補充について、個々に検討しています。
- ・生徒数が減少しているのに、9人で行う野球。11人で行うサッカーを部活動で行うのには無理があるのではないか。町内の中学校が同じ問題を抱えているので、「チーム南知多」として部活だけでも一緒に行うとか、個人競技にシフトしていくとか、校外クラブ参加を一つの部活として認めるとか、少子化への対応を検討してほしい。  
⇒ 種目については、地域や小学校との連携で厳選したものです。大会参加が、部員不足が理由で不可とならないように、町内中学校と連携して解決していきたいと思います。
- ・小学校でのクラブチームの活動で技術の差が明らかな部活は、技術の差＝部員間の上下関係となりかねず、部活がいじめの温床になってしまう。「勝利至上主義」なのか、「人間形成の場」なのか、各部の考えが入部前に保護者に分かるようにしてほしい。  
⇒ 部活動方針が「勝利至上主義」となることはありません。生徒の立てる目標が行き過ぎた勝利への固執にならないように、留意していきます。試合結果については、目的ではなく生徒のモチベーションを喚起するにひとつの目標とする場合もありますので、ご理解をお願いいたし

ます。

- 冬期に女子のタイツを許可してほしい。  
⇒ 中学校により対応はまちまちで、着こなしが難しい面もあります。過去、生徒会の活動で、制服下校をジャージ下校可とした事例があります。生徒自身の問題として、実情に応じた改善に向けた生徒会の提案を促していきます。
- 長距離走大会に駅伝の部は必要ないのではないか。  
⇒ 団体種目とすることで、学級の団結が生まれ、個人種目にはない成果を生み出しています。長距離走大会自体をなくす学校もありますが同大会を継続する場合は、駅伝の部は設定したいと考えています。
- 少人数の学校では、級長は生徒会役員などで「役割の固定化」が問題になる。リーダーを経験することは社会に出て役立つので、先生からの働きかけとサポートをお願いしたい。  
⇒ 生徒数が減少する中、生徒個々のリーダー性の育成は、大きな課題です。小集団の中で、同じ子がリーダーを務めることを、生徒自身にも深く考えさせていきたいと思えます。
- 若あゆ日記は毎日返却してほしい。担任が忙しくて見られないなら、副担任など別の先生でもいいので見て返してほしい。また、女子特有の問題で、男の担任に相談できないこともあるので、日記を見てもらう先生を子どもが指定できるシステムを作してほしい。  
⇒ 生徒と教師が交換する日記について意義をご理解いただきありがとうございます。30冊を超える日記に朱書きして返却することは、限られた時間の中で、曜日によっては難しい日もあります。その意義は大切にしながら、生徒と教師の関係作りとして維持していきたいと考えています。
- P T A新聞は活動報告がメインで保護者の知りたい情報が少ない。先生の顔と名前、担当と簡単な自己紹介は年度最初の合に載せてほしい。執筆者の偏りも気になる。いろいろな子が掲載されるようにしてほしい。  
⇒ P T A組織は毎年入れ替わる中で、P T A広報紙としての意義は十分果たされていると思えます。委員のみなさんの加重負担とならないように配慮しながら、執筆者の依頼については、肩書きをお願いしていることも多いので、重複については留意していきたいと思えます。
- 中間テストを2日日程にしてほしい。  
⇒ かつて2日であったものを、受検（受験）を想定して、1日となりました。採点する教師も厳しいのですが、授業や部活動時間確保のこともありますので、ご理解をお願いします。
- 英語と数学の授業は、塾に行っている・いないをしっかりと把握し、いっていない子が理解し習熟できる進め方・課題の出し方で行ってほしい。  
⇒ ご意見ありがとうございます。学校としては、習熟度に配慮した学習展開・家庭学習を引き続き考えいきますので、ご理解をお願いします。
- 授業や部活の必要な情報が生徒全員に確実に伝わるように配慮をお願いしたい。（情報があいまいだと確認手段が LINE などになり、スマホがほしいということにつながる）ホームページでの発信もよいが、必ずしも全員がチェックするわけではないので、必要な情報は紙媒体でお願いしたい。  
⇒ ご意見の通り、全体周知は、紙媒体を基本としています。緊急時を除き、メールやホームページは、それを補完するシステムと位置づけています。中学生の発達段階では、生徒本人から家族に言葉で伝える力を育む必要もあり、家庭への連絡を通して学習していることもありますので、ご理解をお願いします。
- HPの記事に誤字(名前の間違いなど)を見かけるが、指摘しにくい雰囲気がある。どこかで校長先生から「気軽に指摘してください」と言ってほしい。

- ⇒ 間違いがあること自体を反省し、申し訳なく思います。間違いを発見されたら、遠慮なくご連絡いただければ幸いです。
- ・部活開始前の1年生の生活だが、部活が始まるまでに比較的暇だった。もう少し勉強で負荷をかけるなど、小学校で最高学年として培ってきた責任感や自覚を緩ませない指導をお願いしたい。また、正式入部前の1年生の部活動への参加がまちまちだった。学校で統一してほしい。  
⇒ 「中1ギャップ」への配慮から、過去の反省に基づき、実施時期を決めています。また、仮入部期間は、部の実情（専門性、指導体制、部員数等）により異なることもありますので、ご理解をお願いいたします。
  - ・中学校は親同士が顔を合わせる機会がとても少ないので、子どもの人間関係やいじめ、クラスや部活内での問題など、親同士で情報交換が必要なことも思うようにできない。電話番号だけでも連絡網を作るとか、学期に1回程度、学年懇談会を開催するかして、学校と保護者・保護者同士のコミュニケーションをよくしてほしい。  
⇒ 個人情報保護から、現在電話連絡網を作成している学校はないと思われまます。また、学年懇談会も、多様な保護者の皆様の負担を考えると定期的な開催を増やすことは難しいと思われまますが、PTA委員の皆様には相談してみようと考えています。保護者同士の関係はニーズが個々に異なりますので、現状では、学年行事（各説明会・懇談会）やPTA活動（家庭教育教室）、部活動応援などを活用していただき関係作りを進めていただければ幸いです。
  - ・学校はいじめアンケートの結果を過小評価していないか。いじめられていると答えた子のことを具体的に把握し、いじている子を叱ってあげなければいけない。今回の結果は、保護者説明会が開催されるくらいの結果だと思う。また、その対策として学校が行っていることについては、親にも伝えてほしい。いじめ問題は学校だけでは解決できないので、保護者と一緒に解決すべきである。また、何度も同じ話をいろいろな先生にするのは辛いので、こういった問題に対する学校の窓口を明らかにしてほしい。問題を大きくしないためには、初動が大切である。生徒の様子がおかしいと気付いたときは、大人が協力して原因を突き止め正していくことが必要である。今後どのように対応していくのか、詳しい説明をお願いしたい。  
⇒ いじめ対応は、個人情報を含む大変繊細な問題で、本校にも多くの事案と反省があり、それに基づき対応を協議しています。相談窓口は、担任⇒教頭・生徒指導主事となっています。また、スクールカウンセラーによるカウンセリング体制も整っていますので、随時ご相談ください。他機関の相談窓口につなぐこともできますので、まず学校へのご連絡をお願いいたします。
  - ・部活動の選択肢を広げたり、子どもたちの居場所を増やしたりするために、中学校の統合を早急に進めてほしい。話し合いのために、今の保護者がどう考えているのか、アンケートを行ってほしい。統合を見据える意味でも、町内の中学校退校の体育祭や合唱コンクールを行ってみてはどうか。  
⇒ 町教育委員会の構想には、平成17年度に「1中5小」構想があり、その後、2小学校が統合されています。現在は、この構想も再検討されているようです。PTAとしてアンケート等を実施することは可能ですが、申し訳ありませんが公立学校の立場から意見をすることはできません。学校としては、目の前の子どもたちに、現状で最大限の教育効果を発揮できるよう努めていきますので、ご理解をお願いいたします。